

東日本大震災から10年の節目における決意

早や10年、否、未だ10年。今の現実を直視し、被災者・被災民に寄り添って、未来を開くため、共に歩みましょう。

東日本大震災は、一瞬にして私たちの大切なものを奪い去り、死者・行方不明者・震災関連死は約2万2千人にも及んでいます。

被災地の復興は、官民を挙げた懸命の努力により着実に前進していますが、現在も4万人以上が長期にわたる避難生活を続けており、復興はいまだ途上にあります。

未曾有の被害をもたらしたこの震災を、絶対に風化させてはいけません。

我々47都道府県知事は、引き続き被災地を強力に支援していくとともに、震災の教訓を将来に継承するため、以下のとおり全力で取り組んでいくことを、この10年の節目において、あらためて宣言します。

1. 発信し続ける

○ 我々は、被災地の今を正しく知り、正しく伝え続けます。

1. 被災地に寄り添い続ける

○ 我々は、度重なる自然災害や新型コロナウイルス感染症など、様々な制約があったとしても、支援や交流の手を止めることなく、被災地の皆さんの心に寄り添い共に歩んでいきます。

1. 次世代へつなげ、将来に生かす

○ 我々は、震災を風化させず次世代へつなげ、将来を見据えた災害に強い地域づくりに、政府はもとより、我が国で暮らすすべての人々とともに全力で取り組んでいきます。

令和3年6月10日

全国知事会
東日本大震災復興協力本部